

令和3年6月定例会 請願

令和3年請願第4号

県立釜石病院に医師確保を求める請願

・受理年月日

令和3年6月10日

・請願の要旨

[請願趣旨]

県立釜石病院では、2020年10月に循環器内科医師の減少と病床稼働率の低下に伴う措置として、循環器内科と泌尿器科の混合病棟を廃止し、患者の入院病床を集約し、コロナウイルス感染症に対応した病床の準備を行った。現在、心筋梗塞などの患者は、病状により近隣の県立遠野病院や県立大船渡病院に移送される。

さらに3月15日には、産科医と小児科医の確保が困難なため2021年10月から分娩の取扱いを休止すると報道された。釜石医療圏での分娩ができなくなれば、妊産婦の方は県立大船渡病院や県立宮古病院、又は内陸の病院に行かなければならず、患者や家族にとっては大きな負担となる。釜石消防署の救急隊にとっても搬送時間の延長と出動件数の増加により負担が増すことになる。

よって、人口減少が進む中であっても、釜石医療圏内で医療が完結できる体制を維持するための医師確保と、地域唯一の救急対応病院、出産に対応できる病院としての機能の維持向上が住民の強い願いである。ついては下記項目について採択されるよう請願する。

[請願項目]

1. 県立釜石病院に循環器内科、脳外科、泌尿器科の医師を複数配置し、基幹病院として充実した医療が出来るようにしてください。
2. 県立釜石病院に産婦人科、小児科の医師を確保し、安心して出産が出来る病院にしてください。
3. 釜石医療圏内で二次保健医療が完結できる体制づくりを積極的に進めてください。
4. 県立釜石病院の医師確保について県の責任で実施することを県に対し意見書を提出してください。

・**請願者の住所氏名**

釜石市栗林町17-2
釜石老人クラブ連合会
会長 栗澤 稔

釜石市大町3-2-18
釜石新生教会
牧師 柳谷 雄介

釜石市甲子町9-241-124
県立釜石病院退職者有志一同
代表 佐藤 あつ子

釜石市甲子町第10地割483-6県医労釜石病院支部内
地域医療と国立釜石病院を守る会
代表 佐久間 悟

盛岡市本町通2丁目1番36号いわて労連内
地域医療を守る岩手県連絡会
代表 金野 耕治

・**紹介議員**

野田忠幸
深澤秋子

・**処理経過**

令和3年6月14日、令和3年6月定例会本会議において民生常任委員会へ付託しました。
上記項目を記載した請願文書表を全議員及び本会議に出席した当局職員へ配付しました。
令和3年6月25日継続審査となりました。